

一般社団法人 カラフルバードは 多様な学びを探すLDの子どもたちを応援します

【カラフルバードってどんな団体?】

カラフルバードは、LD (学習障害)傾向のある子どもたちとその家族、支援者のために、さまざまな情報とつながりを提供する団体です。ウェブサイトを用いての情報提供からスタートし、現在はイベント・ICT講座などの活動を幅広く展開しています。今後も、子どもたちの多様な学びを支えるために、情報提供や支援活動を継続していきます。

【カラフルバード・ヒストリー】

2023年

LD傾向のある子どもの保護者達と大学院生 とがX(Twitter)でつながって活動を開始。 『カラフルバード』 を立ち上げ。

2025年

東京都教育委員会に協力し、読み書き困難の子へのICT活用ブック「LIFT ~一人ひとりに合わせた学び方の選択肢 端末で広がる読み書き支援~」を、『学び方の違う子の親の会ルピナス』とともに作成しました。

2025年8月22日

カラフルバードは

『一般社団法人カラフルバード』として新た な一歩を踏み出しました。

ご支援ページ

これからさらに成長し、子どもたち の多様な学びを支えていくために、 みなさまのご支援とご寄付を心より お願い申し上げます。



【学び方のちがう子に 学び方の選択肢を】

~こんな子いませんか?~

宿題をやりたがらない
ノートがとれていない
トラブルはないのに学校に行き渋る
漢字が覚えられない
英語だけ極端に苦手
計算でつまづく

豊富な情報が集まる \ウェブサイトにアクセス/



SNS等への 総合リンク





カラフルバードへの応援メッセージ





「この子はLDかもしれない」と気づいた ここには誰もが知りたかった情報が詰ま っている!!」と胸が高鳴りました。

明日の授業で使いたい文具から知っておきたい公的機関の情 報まで、痒い所に手が届く上質の情報が、見やすく整理され ていて、「まずはここを見て」と言える場所です(*^○^*) さらに、 特定のメソッドを盲信することなく、「多様な学 びを探しにいこう」というコンセプトが貫かれています。 私もカラフルバードさんのページでしっかり勉強して、目 の前にいる子ども達の学びに生かしていきたいと思います。 貴重で素敵な場所をありがとうございます!! 心から応援しています。

島根県松江市立島根小学校 教諭 井上 賞子 先生

時、きっと保護者の方はとっても不安に なられると思います。なぜなら「どうし たらいいか」が明快でないから。 カラフ ルバードさんのHPを見た時、「ああ、

中川信子さんから、カラフルバード の活動を聞きました。

非常に心強くまた嬉しく思います。 私は現在は、LD学会やSENSの活動 を見守りながら、私立の特別支援学 校、旭出学園の理事長として、障害 のある子供たちの生涯教育と生涯福

祉のために私の残されたエネルギーのすべてを注いでお ります。あなた方の活動が、多くの方たちの力強い励ま しになるよう心からお祈りいたします。私でお役にたつ ことがあれば、どうぞ声をかけてください。

東京学芸大学名誉教授/日本LD学会元理事長

上野 一彦 先生







「LD」と言う言葉にとらわれることな く、「学習に行き詰まったら・・・」 「今よりもう少し楽しく勉強ができる 事はないか?」そんな思いが芽生えた らまず覗くとよいと思います。一人ひ とりの学びの特性に応じた手立てを考 えるうえで大事なことは、根拠に基づ



く事ですが、それ以上に「今できる事」をそれぞれの立場 で考える必要があります。このサイトはその第一歩として の情報を与えてくれるものになっているように思います。 上手に育って、また皆で育てていってほしいですね。

立命館大学 教授 川崎 聡大 先生

「知識は力なり」という格言があり

これは、多くの知識を身につけるこ とは力になる、という意味です。こ れまで、学習障害について知識を得 たいと思っても、バランスよく知識 が提供されている場がほとんどなか



ったのではないでしょうか。これからは、学習障害の当 事者、保護者、関係者などが、支援や合理的配慮のため の力を得ることができる場が、カラフルバードになるで

東京農工大学大学院工学研究院 客員教授 河野 俊寛 先生



素晴らしい企画ですね。 確かにLDは学び方は人それぞれ、まな びの多様性を尊重した関わりが大切で す。最近のことばではLearning Diversityです。

ある保護者と先生の会話です。 子どもの学習面の悩みを相談した親に

先生から一言。

「お母さん、こんな子他にも沢山いますよ。心配し過ぎです

担任は励ましたつもりで相手を傷つけています。 今、子どもは困っているんです、悩んでいるんです。 先生の基準ではなく、その子に寄り添い、その子に合った学 びを一緒に見つける努力をしてくれる先生が欲しいです。

大阪医科薬科大学LDセンター顧問 竹田 契一 先生



LD。対象も広いし、立場によって見 えるものも驚くほどちがいます。 学 問としてきっちりさせることがお仕事 の学者さんやお医者さんなど専門家の 発信には「勉強になります!」がたく さんあります。

だけど一つの見方が強すぎて

「今、ここ」の「うちの子」にはフィットしなかったり、 専門的すぎて理解しにくいこともありませんか? 当事者・保護者による情報があふれるこの「カラフルバー ド」のサイト。「私が探していたこと」にたどりつく入り 口になるといいですね。

応援します!

子どもの発達支援を考えるSTの会 代表 中川 信子 先生



Kaienの運営する児童向け福祉サービス"TEENS"でも学習に困り感を抱えるお子さんが数多く通 っていらっしゃいます。ASD/ADHDに比べて「こういうタイプの子にはコレ!」といった画一的 な支援法がLDには少なく、より専門的な知識を有することが必要だと感じてきました。 カラフルバードは当事者だけでなく、支援者にとっても"迷った時にまず訪れる場"として、多様 (ダイバーシティ)な学びを得られる専門性の高い素晴らしいサイトだと思います。私たちも学 び、活用させていただいています。これからも皆さまのご活躍を応援しています。

放課後等デイサービスTEENS運営 鈴木慶太(㈱Kaien)



(一社) カラフルバード (CBLD) 2025. 10